

第5回 草津市南草津エリアまちづくり推進懇話会 会議録

- 日時：令和3年3月23日（火）14：30～16：00
- 場所：フェリエ南草津5階 市民交流プラザ大会議室
- 出席委員：武田座長、棚橋副座長、石垣委員、梅村委員、田村委員、橋本委員、花澤委員、伊藤委員、足立委員、有村委員、笠井委員、野口委員、新谷委員、長谷部委員
- 欠席委員：岡井委員
- 傍聴者：2名
- オブザーバー：昭和株式会社2名
- 事務局：総合政策部草津未来研究所 堀田理事、中瀬参事、坂居専門員
総合政策部兼都市計画部 一浦副部長、中井係長

1. 開会

【堀田理事】

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、御出席賜り、ありがとうございます。さて、昨年8月から開催してまいりました南草津エリアまちづくり推進懇話会も、本日で5回目を迎え、いよいよ最終回となります。本日は、みなくさビジョン案を議題とし、新年度早々に実施予定のパブリックコメントに向けて、委員の皆様には忌憚のない活発な発言を頂戴したいと存じますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【事務局】

ありがとうございました。
それでは、次に配布資料の確認をさせていただきます。

(配布資料の報告)

なお、本日の傍聴者の方が2名おられますので、よろしくお願ひいたします。
本日、岡井委員については御欠席の御連絡をいただいておりますので、後日、御意見等あればいただく形をとりたいと思います。
それでは、ここからは座長に進行をお願ひいたします。座長、よろしくお願ひいたします。

2. 報告

【座長】

ここからは次第に沿って進めてまいりたいと存じます。
次第の「2. 報告」につきまして、事務局からお願ひします。

【事務局】

(参考資料2について説明)

3. 議題

(1) 南草津エリアまちづくり推進ビジョン（みなくさビジョン）案について

【座長】

それでは、次第の「3. 議題」に移らせていただきます。

(1) の南草津エリアまちづくり推進ビジョン案について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料1、資料2、参考資料1、について説明)

【座長】

補足説明として、ビジョンとは目標を実現するために予算を持って事業を実施するものではなく、これからまちづくりに関わるものが共有して進めていくものです。目標として具体的な数値を上げられていますが、研究会や具体的な事業などの取り組みが行われているのか、進度をチェックすることも必要です。

また、推進体制の文章中に突然プロジェクトという言葉が出てきており、プロジェクトとは何を指すのか、文章整理をすると良いと思います。

【事務局】

プロジェクトの内容はまだ決まっていますが、JR南草津駅前では交通の社会実験をしており、その結果を踏まえて駅前の色々な仕掛けづくりを考えています。あわせてプリムタウンが完成すると交通がどのように使用されるか、駅の東と西のにぎわいをどうしていくのか、社会資本整備総合交付金を用いながら進めていきたい。また、都市と交通のシナリオスタディのような研究会を踏まえて、市民の皆さんが推進していくプロジェクトを実現していきたいと考えています。

地域まちづくりセンターも令和4年度から建て替えが進められる中で、どのような付加機能を持たせられるか地域の皆さんと議論していきたいと思います。

さらに、南の玄関口としてネクスコ等と研究会を進めておりますので、そういったプロジェクトも進めていきたいと思います。

【座長】

単にプロジェクトと言うと、施策に記載している内容を具体的な事業として実施されると誤解される可能性があるので、プロジェクト自体が色々なレベルの取り組みであることが分かるように表現すると良いと思います。

【事務局】

「第5章 ビジョンの推進に向けて」において、プロジェクトの説明を追記させていただきます。

【A 委員】

目標について、先ほど事務局で資料を説明された際の補足説明が非常にわかりやすいと思いますので、文章を追記していただきたいです。その文章があれば、目標値はビジョンを推進する上で大事なものであるが、定量的な項目だけに留まらず、各取組みの進捗状況など定性的な確認もすることが明確に伝わると思います。

【事務局】

市民の皆さんもわかりやすいと思いますので、追記させていただきます。

【B 委員】

将来像のパースについて、鳥瞰図では人が集まっている様子が見えにくいので、にぎわいが多いかどうか判断しづらいと思います。鳥瞰図とは別に、地域まちづくりセンターのパースのように、人の集まりがはっきりと見えるようなパースが南草津駅周辺、琵琶湖岸周辺、草津PA周辺にあれば良いと思います。

【C 委員】

連携体制の構築イメージ図について、参画はすごく難しいことだと思います。どうしても積極的に関わる市民と非積極的な市民の差が生まれてくると思いますが、それについてはどうお考えでしょうか。

【事務局】

UDCBK等に関心を持って参加してもらえるようなきっかけづくりをして、そこから市民の皆さんに参画していただくのが第一歩だと思っています。

【D 委員】

推進体制の構築イメージ図について、各主体から中央に向かう矢印が破線で描かれているのは何か意味があるのでしょうか。将来的に参画するということを表現するのであれば、グラデーションで表現すると良いと思います。

【事務局】

徐々に参画していくというイメージでしたが、グラデーションに直させていただきます。

【E 委員】

以前、私の学区はモデル学区として市民の皆さんがたくさん参加して活動していましたが、最近コミュニティが希薄化し市民参加が少なくなっています。他の学区も同じ状況です。市民にコミュニティに参加してもらう方法を考えていかなければ上手くいかないと思いますので、まずは市民に関心を持っていただくことを考えていただきたいです。

【座長】

参加すると何か共有できる、力を合わせれば何か獲得できるというような希望を持って雰囲気づくりが大切だと思います。今後、プラットフォームでは何をするのか、参加のモチベーションになるようなことがあれば記載するのはいかがでしょうか。

【事務局】

連携体制の構築に書いてある「草津市に住む市民の方々と気軽に自由に話し合い」というのがキーワードで、自分が住んでいる地域のことを話せるきっかけをつくり、市民や行政が参画し、皆で考えられる場所としてプラットフォームが大事だと思います。

【F 委員】

草津市においては、町内会が地域の活性化について取り組んでいる一方、地域まちづくりセンターを中心とした地域の活性化も行われています。これからはどのような体制で地域の活性化を進めていくのか整理していただけたら良いと思います。

また、将来像のパスについて、このような夢を持っていれば協力して活性化に向かって行こうという雰囲気が出てくると思いますので、色々なところに貼っていただきたいと思います。

【事務局】

町内会がなければまちづくりの第一歩が進められないため、大事な組織だと思っています。基礎的コミュニティが希薄化しているのも事実ですが、町内会でしっかり維持していくために行政としても積極的に協力していかなければならないと思っています。

一方で、地域まちづくりセンターで自主的に行われる活動の支援を行い、市民の皆さんが参画してもらうことも必要だと思います。本日の御意見はまちづくり協働課に伝えます。

パスについて、これをたたき台として共有し、少しでも近づいていけるように色々な活動をしていくきっかけとして整理したいと思います。

【座長】

UDCBKには大きく掲示されるのでしょうか。

【事務局】

完成した後に掲示します。

【G 委員】

私共の地域まちづくりセンターは古く狭いので、集まって話すことがなかなかできません。建て替えをすれば色々な話し合いも出来るようになると思いますので、建て替えの推進をしていただきたいです。

【事務局】

令和4年度以降になります。南草津エリア内については3つの学区の地域まちづくりセンターが建て替えの対象になるように聞いています。建て替えを検討する際は、地域の方が参画して従来の施設にどう付加機能を付けていくか等、様々な意見を言っただけなど積極的に関わっていただきたいと考えています。

建て替えの時期は決まっていますが、ビジョンに位置付けることが行政としての第一歩と考えています。

【H 委員】

挙げられている施策を行政が確実に実行していくことができれば、最高のまちになると思います。

「建築協定・緑地協定等による質の高い住環境の形成」という施策について、プリムタウンの事業が進んでいますが、地区計画を定める際に、行政と開発業者のみで市民を全く巻き込んでいなかったと思われるため、市民の意見を集約する場所をつくっていただきたいです。

また、施策の内容について「都市計画法第34条11条」など、専門家でないと理解できない言葉がいくつかあります。

【事務局】

市民の皆さんの分かりやすさという点において、説明が必要な難しい言葉については表現を考えたいと思います。

草津市において土地利用は大きな課題と認識しており、抽象的な言葉で書いておくことで施策の可能性を拓けられる面もあります。施策として位置付けている以上は行政として推進していきます。

【座長】

専門的な言葉で書いておくと後ほど役に立つこともあるかもしれませんが。市民向けに吹き出しで説明を加える等の工夫をいただければと思います。

プラットフォームにどうすれば市民が参加したくなるのかという課題においては、市民を巻き込む、思いを吸い上げるというような言葉を入れていただくと良いと思います。

【A 委員】

連携体制の構築にある文章から、初めてUDCBKの設立理由を知りました。このビジョンとは別に、UDCBKの設立趣旨を市民の皆さんに広く知っていただくことが大切だと思います。UDCBKが行っている活動についても情報発信を心がける必要があると思います。

また、UDCBKの機能強化の文章がわかりづらいので、もう少し簡単にさせていただきたいです。

【事務局】

UDCBKの存在を地域にお住まいの方にまだまだ認知されておらず、UDCBKや市民交流プラザ等の機能を市民の皆さんに使っていただくことが課題です。

UDCBKの従来の機能に加えて、まちづくりのきっかけとしての機能を持てればと思ひ、機能強化という言葉を入れています。わかりづらさについては、一度整理させていただきます。

【I 委員】

ビジョンが実現できるよう、企業として全面的に草津市に協力するための体制を整えさせていただきますので、引き続きよろしくお願ひします。

【J 委員】

プラットフォームができるためには結局何が必要なのか考えると、人が寄り添ってそこに行けば未来像や課題が見えて心配事が解決するということが大事だと思います。UDCBKには、将来像に期待感を持って意見を述べる場、施策の内容について意見を述べる場としてのハブ機能が必要になると思います。

今は行政的な表現ですが、こんな課題を解決しようとしているということがビジュアルライズされるとストレートに伝わるので、行きたいと思う市民が増えプラットフォームとしての機能が増すと思います。

また、コワーキングスペースの設置など企業として地域の活性化に貢献できるようなことが沢山あると思いますので、来年度以降は具現化するフェーズに入っていきたいと思ひます。

【K 委員】

駅を中心としたまちづくりを進めて参りたいと考えているので、実現に向けてグループ会社含めて力を合わせて参画できるようなことを考えていきたいと思っています。

J R南草津駅に特急はるかが停車するようになりさらに利便性が向上すると思いますので、そういう面でもまちづくりに寄与していきたいと思っています。また、J R南草津駅の中で南草津が変化してきた様子をPRできるようなことを検討しています。社員含めまちづくりに貢献できることを考えているので、今後ともよろしくお願ひします。

【L 委員】

懇話会に参加することで、まちづくりの先頭に立つ方の意見を直接聞けたことにより、まちづくりが身近になったと感じます。

また、ビジョンのPDCA状況等について駅舎のディスプレイやエスカレーターの天井等で掲示して、市民の目や耳に定期的に入るようにしていただきたい。現段階の問題点など課題を共有することで、解決の糸口になる可能性が生まれると思います。コロナ禍で難しいですが、市民全体がビジョンを共有できる新しいコミュニティができればと思います。

【B 委員】

UDCBKでは楽しい企画やコンテンツを提供されているので、ぜひ皆さんに参加していただきたいと思っています。3月で立命館大学を卒業し、草津市を離れ関係人口になりますが、何か役割があれば声をかけていただきたいです。

【C 委員】

市民がまちづくりに関わる際に課題解決のためなど明確な理由を持つ人は少数で、最大の理由は面白いからだと思っています。面白さやかっこよさからにぎわいが生まれていくような仕掛けができると良いと思います。

【副座長】

地域まちづくりセンターを最大限活用するということが課題の一つだと思いますが、活用例としてパネル展があります。このように、将来像のペース等を展示して目にしておくことで会話が弾み交流が生まれ、まちづくりへ参加する一つのきっかけになると思います。

南草津のまちづくりについて、6学区全員が参加できる仕組みが必要です。また、高齢化にどう対応していくかも重要です。集まりの場へ物理的に足を運べない方のための助け合い事業を私たちの地域では始めましたが、そういった機会において、まちづくりの活動内容に興味や希望を持っていただくようなこともできるかと思っています。これから

の実現に向けた動きを期待していますので、よろしく申し上げます。

4. 閉 会

【座長】

そろそろ時間がまいりました。委員の皆様にはスムーズな議事の進行に御協力賜り誠にありがとうございました。これで議事は終了いたします。それでは事務局へ返します。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、最後に事務局から一浦副部長が御挨拶させていただきます。

【一浦副部長】

本日は貴重な御意見ありがとうございました。さきほど皆さんからおっしゃっていただきましたとおり、絵に描いた餅で終わるのではなく、実現に向けて進めて聞きたいと思っております。これからパブリックコメントということで、多くの市民の皆さんに御意見を伺いながら、修正等を行うこともあります。これについては、座長、副座長と相談をさせていただきながら進めていきます。いずれにしても7月頃にはまとめ、UDCBK、都市計画部中心にまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、今回、参画いただいたことをきっかけに、今後とも御協力いただければと思います。一年間ありがとうございました。また引き続きよろしく願いいたします。